

障害福祉サービス等の見込み量について

(第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画)

訪問系サービス

居宅介護

重度訪問介護

同行援護

行動援護

重度障害者等包括支援

- ※1 調布市が支給決定の実施主体となっている利用者を対象としています。
- ※2 各サービスにおける実績及び見込み量は、利用時間数及び利用日数については各年度の全ての利用者の利用量の年間合計の数値を、利用人数については年間の実利用者数を記載しています。
- ※3 令和8年度の実績は、令和8年5月請求分（令和8年3月提供分から4月提供分までの2か月間）までの実績をもとに推計（ $\times 2/12$ で一年間分に換算）したものです。今後も実績の集計に伴い修正を行っていきます。
- ※4 「重度障害者等包括支援」については、事業所がきわめて少なく（都内1か所。令和8年6月時点）、市内にも事業所がないことから、次期計画においても利用を見込んでいません。

令和7年度調布市民福祉ニーズ調査結果 ※抜粋

(問) 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

(ア) 好きなところへ出かける (ヘルパー利用も含む)

(18歳以上：問20 18歳未満：問12)

種別	十分にある	機会はあるが、十分ではない	機会がない	必要ない・できない	無回答
身体障害 (65歳以上)	44.2%	21.1%	7.4%	13.7%	13.7%
身体障害 (64歳以下)	46.6%	27.7%	8.0%	9.7%	8.0%
知的障害	44.6%	29.2%	7.9%	8.8%	9.6%
精神障害	45.7%	30.1%	9.9%	9.4%	4.8%
難病	54.0%	25.0%	6.0%	9.5%	5.5%
児童 (18歳未満)	51.9%	40.5%	4.9%	2.74%	0.0%

(問) 調布市の障害者福祉施策 (サービス) をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(いくつでも○)

(18歳以上：問38 18歳未満：問40)

種別	ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス	ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援
身体障害 (65歳以上)	30.0% (3/16位)	7.9% (11/16位)
身体障害 (64歳以下)	26.5% (5/16位)	14.7% (14/16位)
知的障害	20.0% (14/16位)	22.9% (13/16位)
精神障害	25.5% (9/16位)	17.6% (16/16位)
難病	30.5% (3/16位)	10.3% (15/16位)
児童 (18歳未満)	18.4% (20/20位)	22.2% (17/20位)

第7期計画期間の振り返りと課題

サービス種別	単位	第7期障害福祉計画			
		区分	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)	R8年度(推計) (2026年度)
居宅介護	延べ利用時間数 (時間)	計画	37,900	38,900	39,900
		実績 (計画比)	36,670 (96.8%)	39,329.75 (101.1%)	38,905 (97.5%)
	実利用者数 (人)	計画	320	325	330
		実績 (計画比)	338 (105.6%)	327 (100.6%)	290 (87.9%)
重度訪問介護	延べ利用時間数 (時間)	計画	197,000	205,000	213,000
		実績 (計画比)	195,838 (99.4%)	207,911 (101.4%)	209,544 (98.4%)
	実利用者数 (人)	計画	77	79	81
		実績 (計画比)	74 (96.1%)	73 (92.4%)	70 (86.4%)
同行援護	延べ利用時間数 (時間)	計画	15,100	15,400	15,700
		実績 (計画比)	13,999 (92.7%)	14,170 (92.0%)	13,944 (88.8%)
	実利用者数 (人)	計画	63	65	67
		実績 (計画比)	57 (90.5%)	55 (84.6%)	50 (74.6%)
行動援護	延べ利用時間数 (時間)	計画	10,100	10,600	11,100
		実績 (計画比)	8,977 (88.9%)	9,337 (88.1%)	8,850 (79.7%)
	実利用者数 (人)	計画	57	59	61
		実績 (計画比)	56 (98.2%)	57 (96.6%)	58 (95.1%)

- 居宅介護及び重度訪問介護では、利用時間数、利用者数とも、計画値に近い実績で増加していますが、依然として利用ニーズに対してヘルパーの不足、利用者の希望する日時や内容でサービスが提供できる事業所が見つからない事例が見られます。特に、精神障害者、医療的ケアが必要な児童の利用希望に対応できる事業所が少ない状況です。

- 重度訪問介護においては、長時間のサービス利用者が増加する一方で、必要な時間数を提供できる事業者が限られ、利用者や相談支援事業者の調整に要する期間や負担が大きくなっています。
- 行動援護では、計画で見込んだサービス量と実績の乖離が大きく、利用ニーズに対してサービスが提供できる事業所が少なく利用できない事例が見られます。特に重度者においてサービス利用に繋がりにくい状況です。
- 調布市福祉人材育成センターにて実施する各種従業者養成研修により、毎年度一定数の資格取得者が輩出されていますが、研修定員に対する充足率の向上と修了者の就労率向上が課題となっています。

【参考資料】障害別の利用状況（令和7年度実績）

サービス種別	単位	R7年度					
		サービス提供実績					
		(全体)	身体	知的	精神	難病	児童
居宅介護	時間	39,329.25	28,239.75	5,984	11,911.5	59	1,159
	人	327	120	57	183	3	7
重度訪問介護	時間	217,911.5	207,911	8,753	1,742.5	0	-
	人	73	73	12	4	0	-
同行援護	時間	14,170	14,170	132.5	0	0	0
	人	55	55	1	0	0	0
行動援護	時間	9,337	1,115.5	8,738.5	70	0	598.5
	人	57	7	50	1	0	7

※1 重複障害者はそれぞれにカウントしており、各障害種別の合計値は全体と一致しません。

※2 「身体」「知的」「精神」「難病」は18歳以上のみ。18歳未満はすべて「児童」に分類しています。

サービス提供体制の状況

(1) 事業所数（令和8年6月時点）

サービス種別	調布市	(参考)		
		府中市	三鷹市	東京都全域
居宅介護	40 か所	59 か所	33 か所	2,814 か所
重度訪問介護	32 か所	51 か所	25 か所	2,314 か所
同行援護	7 か所	9 か所	5 か所	799 か所
行動援護	5 か所	3 か所	6 か所	283 か所

(2) 人材育成の状況

調布市福祉人材育成センター資格研修の修了者数（人） ※（ ）内は受講定員

内容	R5 年度 (2023 年度)	R6 年度 (2024 年度)	R7 年度 (2025 年度)	3 年 合計
介護職員初任者研修	8 (20)	6 (20)	10 (20)	24
重度訪問介護従業者養成研修	8 (15)	5 (15)	6 (15)	19
同行援護従業者養成研修（一般課程）	14 (16)	13 (16)	10 (16)	37
行動援護従業者養成研修	26 (26)	12 (26)	23 (26)	61
医療的ケア支援者養成研修(特定の者)	10 (20)	13 (20)	9 (22)	32

第8期計画におけるサービス見込み

【サービス見込み量の考え方（案）】

- 利用者一人ひとりに必要とされるサービス量の提供が保証されることを基本と考えます。
- 相談支援等を通じたニーズの掘り起こしや、提供体制確保による利用時間数の増加により、利用者数、利用時間数ともに今後も増加傾向が続くと考え、提供体制の拡充を図ります。
- 第7期までのサービスの拡大傾向を踏まえ、第8期中の必要なサービス量を見込みます。

サービス種別	単位	第7期実績		第8期障害福祉計画(案)		
		R7年度	R8年度 (推計)	R9年度 (2027年度)	R10年度 (2028年度)	R11年度 (2029年度)
居宅介護	延べ利用時間数 (時間)	39,329.75	38,905	※今後の議論を踏まえ、第4回委員会において提示予定		
	実利用者数 (人)	327	290			
重度訪問介護	延べ利用時間数 (時間)	207,911	209,544			
	実利用者数 (人)	73	70			
同行援護	延べ利用時間数 (時間)	14,170	13,944			
	実利用者数 (人)	55	50			
行動援護	延べ利用時間数 (時間)	9,337	8,850			
	実利用者数 (人)	57	58			

【提供体制確保のための方策】

※今後の議論を踏まえ、第4回委員会において提示予定